



介護あんしん 相談員だより

第59号 令和7年9月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員は、ご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きして、客観的な目で見えて気づいた点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。現在18名の相談員が活動しています。



利用者様や介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
(令和7年6月・7月)



～介護あんしん相談員の声より～



相談員：洗面台の蛇口の一つに、水受けが設置されていました。
施設：車椅子の利用者様が手を洗いやすくなりました。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



車椅子の利用者様は、手を洗う際など届かない時があります。そのような時に、水受けがあったらとても便利でしょうね。

施設ではいろいろな工夫で、利用者様が利用しやすい環境になるよう、対応されているようでした。



相談員：「ここは面会中なので、入らないでください。」とスタッフに言われました。
施設：あんしん相談員の役割の理解が足りなかった。

介護あんしん相談員は、ご家族や施設スタッフからのお話も聞きます。相談員は、利用者様の代弁者であるとともに、施設と共に双方で良質な介護サービスを目指すという目的もあります。

ご家族へもあんしん相談員の役割を紹介し、相談の是非を尋ねていただけたら幸いです。



～利用者様の声より～



利用者：自由に外出が出来ない。

施設：週1回、近くの公民館のマージャンサークルに行かれています。
(ご家族の外出支援によって、自由に外出できます。)



【鳥栖地区広域市町村圏組合】

訪問した際には、「自由に外出が出来ない。」とお話をされましたが、週に1回は近くの公民館での健康マージャンサークルに行き、楽しまれているそうです。

居室にはマッサージ機やパソコンがあり、「自分なりに楽しく過ごしています。」と話されていました。マージャンはパソコンで対戦しながら、腕を磨かれているようです。

ご家族が、利用者様の外出の支援はされており、これからも身体を維持し、公民館のお仲間とマージャンが出来るような生活を、続けて欲しいですね。

現在は要支援1で、ご家族さまのお迎えがあれば、自由に外出していただけるということでした。

利用者：お風呂のとき、物扱いされているみたいで入りたくない。

施設：身体を清潔にするためだけの入浴ではないことを共有していきます。



【鳥栖地区広域市町村圏組合】

訪問した相談員に、「ここでお風呂は入りたくない。ドボンとつけて洗って、何分かで“はい終わり”って、物扱いされているみたい。」と、お話しされたそうです。

施設のスタッフさんは、あんしん相談員を通じて、利用者様の思いを知る機会になったようです。

施設では、「時間の制限のある中で、どれだけリラックスしていただけるかは、職員の声かけや配慮によって変わるものだと考えられます。身体を清潔にするためだけの入浴ではないことを、共有していきます。」とのことでした。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。よろしければご利用ください。